

きらめく 津山人

永井 俊幸 さん (加茂町宇野)

チェーンソーカーバー

チェーンソーを使用して、主に杉の木材からクマやフクロウなどを彫り出す彫刻家(チェーンソーカーバー)として全国で活躍中。2007年に初めてチェーンソーアートのヨーロッパ大会に参加し、2009年にはイギリス大会で優勝するなど、国内外の大会で数多く入賞を果たす。



定期見学会

とき 毎月第2・4日曜日午後2時~3時
ところ もえぎの里あば交流館西側駐車場(阿波)

見学料 無料

※雨天の場合も開催。なお、主催者の都合により、延期する場合があります

問 TOSHI CARVES (加茂町宇野)

☎080-5626-8080

チェーンソーアートを始めたきっかけは？

以前、ログハウスを作る仕事をしていました。輸入された木にワシの彫刻が施されていました。それがチェーンソーで作った作品だと知り、チェーンソーアートに興味を持ちました。

その後、アメリカチャンピオンが指導する講習会に参加し、仕事で作るログハウスのウッドデッキに、このチェーンソーアートを組み合わせると面白いものができるようになるようになりました。次第に「自分でも作ってみたい」という思いが強くなり、本格的にチェーンソーアートを始めました。

チェーンソーアートの魅力は？

本来は細かい作業に適さないチェーンソーで、1本の丸太に繊細な彫刻を施して頭に描いたものを表現し、さらに躍動感や迫力などを作品に与えていくことに魅力を感じています。そのため、数時間没頭し続けて1つの作品に向き合うこともあります。

また、定期見学会など人前で彫る時は、短時間でお客さんに楽しんでもらえる作品や演出を考えながら彫刻しています。完成した作品を見て喜んでいただくこともうれしいのですが、制作している過程を見たお客さんから驚きの声や拍手がもらえる、パフォーマー(演出家)としてより喜びを感じます。

津山の皆さんにメッセージを

自然豊かで地域全体が大きな家族のような阿波地域に魅力を感じ、平成22年にあば交流館駐車場の一角にアトリエを構えました。そのアトリエには制作した作品を置いていますので、ぜひ、作品や定期見学会を見に来てください。



定期見学会でのパフォーマンスの様子

今月の表紙

土俵際のせめぎ合い
第10回津山少年相撲大会
5月22日 津山スポーツセンター相撲場(勝部)

晴天に恵まれた津山少年相撲大会は、気温の上昇とともに熱戦が繰り広げられました。投げられそうになっても必死にこらえる姿に、手に汗を握りながらシャッターをカシャ。体を土俵に打ち付けられ負けた豆力士が、悔しさと痛さを我慢しながら立ち上がる姿に、思わず目頭が熱くなりました。(中)

梅雨の季節に出でくる虫といえはムカデ。家の中で遭遇するとパニックになります。先日夜、家に帰ると玄関のインターフォンの上にムカデが居ました。ピンポンを押し入ろうとする礼儀正しい奴でしたが、訪問はお断りしました。苦手なので家の外でもパニックになったわたしって近所迷惑?(雨)

外遊びが好きな4歳の娘。以前は脇目も振らずに走り回って、危ないと思う時期もありましたが、最近は逃げずに近くに居てくれるので可愛さ倍増です。「三女」と称して、わたしの行動に付き合わせています。何歳までこんな風に接してくれるだろうかと、不安と喜びに心が揺れる毎日です。(W)

